

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び方法
満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品……定額法によっています。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込み方式によっています。

2. 表示方法の変更

(正味財産増減計算書関係)

前年度まで「事業費-雑費」に含めて表示していた助成事業の選考委員会開催費については、より明瞭な表示とするため、当年度より、「事業費-会議費」として表示しております。この変更に伴い、「事業費-雑費」の前年度決算額は、当年度決算額との比較対象のため、「事業費-会議費」に組替え掲記しております。

3. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産定期預金	2,411,747	0	0	2,411,747
投資有価証券	1,326,248,708	431,352	0	1,326,680,060
小 計	1,328,660,455	431,352	0	1,329,091,807
合 計	1,328,660,455	431,352	0	1,329,091,807

4. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産定期預金	2,411,747	(2,411,747)		
投資有価証券	1,326,680,060	(1,326,680,060)		
小 計	1,329,091,807	(1,329,091,807)		
合 計	1,329,091,807	(1,329,091,807)		

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。 (単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	115,500	115,500	0
合 計	115,500	115,500	0

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第10回 利付国債(30年)	64,107,857	67,593,500	3,485,643
第109回 利付国債(20年)	199,178,666	215,140,000	15,961,334
第139回 利付国債(20年)	99,598,178	108,220,000	8,621,822
第143回 利付国債(20年)	194,081,818	211,282,500	17,200,682
第150回 利付国債(20年)	99,713,541	106,180,000	6,466,459
埼玉県第16回20年公募公債	80,000,000	82,296,000	2,296,000
神奈川県第27回20年公募公債(野村)	100,000,000	105,260,000	5,260,000
静岡県第24回20年公募公債	50,000,000	46,935,000	▲ 3,065,000
神奈川県第27回20年公募公債(日興)	100,000,000	105,260,000	5,260,000
第325回日本高速道路保有・債務返済機構債	100,000,000	93,350,000	▲ 6,650,000
イオンリート投資法人第5回投資法人債	40,000,000	38,972,000	▲ 1,028,000
第21回東京都住宅供給公社債	100,000,000	104,380,000	4,380,000
507回東北電力社債	100,000,000	88,160,000	▲ 11,840,000
合計	1,326,680,060	1,373,029,000	46,348,940

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	17,879,465
合計	17,879,465